

「五葉山の魅力」

五葉山自然倶楽部
創立10周年に寄せて

②9

遠野の早池峰山や六角牛山から、南方向に稜線が長く延びた台形型の大きくドッシリと構えた五葉山が望める。

開山の歴史は分らないが、五葉山も古くから早池峰山、氷上山とともに釜石・気仙地域の三山信仰の山として知られ、山の神、水の神、海上の守護神として崇められている。また「神が宿る」山として感謝の念が捧げられ、信仰されている。

信仰あつく、伝説が語り継がれている五葉山は、地域から愛されている。特に釜石・気仙地域の

名山としても広く知られ、遠野では早池峰山、六角牛山、石上山が、釜石では五葉山、愛染山、片羽山が昔から「お山かけ」と証す「成人儀礼」の信仰登山も盛んであったと伝えられている。要所には今も苔むした祠(ほころ)が安置されている。

昭和三十年代後半から四十年代にかけては、職場の仲間や友人同士で登山する時代になり、遠野からも多くの人々が日帰り五葉山に登山した。お昼には持ち寄った弁当を広げ、にぎやかに楽し

んだ。私もその一人で、早池峰山にはない五葉山の魅力に感動し、現在も妻と、あるいは友人達と毎年コースを歩きながら登山を楽しんでいる。

かつては、遠野から五葉山へは釜石線に乗り、

ダケカンバの林を進むと、ツツジ満開のツツジ尾根に出る。仲間を気遣い、助け合いながら展望の開けた尾根で一休みする。

やがて目の前に大岩が重なり合った黒岩山に登

さもまた五葉山の魅力である。黒岩からは大岩とハイマツの根に注意しながら眺めの良い尾根を歩く。下山コースの檜山分岐から日枝神社まで緩やかに登って、ミヤコザサ、コケモモ、ガンコウランなどの生息地を歩き山頂に着く。

長いコースではあるが

替えた立派な「あすなろ山荘」に着く。あとは平坦な林道を淡々と歩くと駐車場に出る。自然林豊かで花に囲まれた展望の良い五葉山、地域から愛される宝の山をみんな守ってほしい。遠野からも望むことができる二十二世紀に残したい貴重な財産である。

【執筆者プロフィール

「遠野市穀町在住、六十五歳。自然公園指導員。山が大好きで健康の保持も兼ね、早池峰山を始め県内の山を歩いている。「登山から学ぶ精神力や判断力、達成感など、人間形成に役立つことがいっぱいあるので、思い出に残る学校登山を進めてほしい」と語る。

地域から愛される山

遠野市穀町

海老 勝彦

住田町の上有住駅で列車を降りて、ここから砂利道をバスで中峠(なかぞね)まで行く。檜山集落を過ぎて上住コースの登山になるが、ツツジの咲く五月末からの檜山・黒岩コースがとても素晴らしい。

遠くには栗駒山、焼石岳、岩手山、早池峰山、愛染山、片羽山、六角牛山の山々が周囲に広がっている。動植物が豊富なだけでなく、この眺望の良

ことも変化に富み、いつも私をワクワクさせる。私の最も推薦するコースでもある。

下りは一旦来た道を檜山・黒岩分岐まで戻り、檜山コースを行く。七月になると満開に咲き誇るシャクナゲの群落地を通り、急勾配のヒノキアスナロ林を下る。

下りきるとすぐ、建て

遠方に黒岩を望む、ツツジ咲く5月末からの季節。檜山・黒岩コースは登山者を魅了する

エッセイ



遠方に黒岩を望む、ツツジ咲く5月末からの季節。檜山・黒岩コースは登山者を魅了する